



# 風っ子・環境キャンペーン



回収品を前にボランティア委員のみなさん。最後列の人が手にしているのが、エコキャップの数が素早く数えられる専用容器

高崎市

## リサイクルの成果 地域に役立ててる

高崎市立大類中学校

高崎市立大類中学校（南大類町）では、毎月第2火曜日「環境の日」として、エコキャップ、廃食油、古紙などを「環境の日」として集めています。手を登校。集まった廃食油

は軽油に代わる燃料に、エコキャップはワクチンに生まれ変わり、アルミ缶や古紙の収益は車いすとなって地域の福祉施設で役立てられます。このように地球にも地域にもうれしい活動に、近くの人たちも協力してくれるそうです。

「環境の日」が誕生したのは10年ほど前。生徒たちが、職業体験先で「廃食油が環境にやさしい燃料になる」と聞いたことがきっかけでした。今後の地球環境のことを考えて早速、回収をスタート。すぐにエコキャップ、アルミ缶、古紙と対象が広がりました。

みんなが持ってきた廃品をてきばきと集めるのは、32人のボランティア委員。たくさん集まるエコキャップは、数を数えるのが大変です。そこで登場したのが大きさの異なる数種類の容器。それぞれの容器がいっぱいになると40個、50個、350個など簡単に数が分かる案を編み出しました。回収結果は生徒玄関に張り出すほか、当日の朝の放送で発表。この日は、エ

風っ子・環境キャンペーンを応援します



秘密兵器を使って効率よく作業ができます

コキャップ1万6770個、アルミ缶3.9詰、段ボール8枚、廃食油1リットルが集まりました。委員長の堤七香さん（3年）は「大勢の人が協力してくれてうれしい。活動を始めて環境に興味を持つようになりました」と話します。回収量の多さには、生徒や地域の関心の高さが表われています。

### 高崎市立大類中学校

林栄司校長 478人  
高崎市南大類町1455  
TEL:027-352-3253  
設立/1979(昭和54)年  
http://swa.city.takasaki.gunma.jp/orui\_chu/

今年のスローガンはLead(導く)、i(あいさつ)、N(仲間)、K(感謝)を盛り込んでLiNK。1年後より大きく良いあいさつができるようにという願いを込めては小文字で表現しています。



群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」許諾第29-110989号

## 身近にできるエコ活動

### ゴミについて知ろう

環境教室で、ある小学校に行ったとき、「ゴミの分別で燃えるゴミに食事の残飯も入ってるよ」と話すと、「えー!水がついてるよ!」と一人の男子生徒が言いました。その通り、今のゴミの分別では燃えるゴミの中に残飯も入れています。でも、水分を切って出す方がゴミは燃えやすくなります。では、燃えるゴミ出しはどうすれば良いか?皆さん、ゴミの出し方などについて、親と話し合ったりしたことはありますか?ゴミ出しも大事な家のお手伝いの一つです。ゴミの出し方を家庭で話し合い、手伝いましょう。

群馬県環境アドバイザー 原田邦昭